

第 1 4 期 事 業 報 告 書

令 和 6 年 度

令和6年 4月 1日から

令和7年 3月31日まで

公益財団法人 日 本 腎 臓 財 団
東京都千代田区九段南三丁目2番7号

目 次

I	事業の状況	P. 1
II	処務の状況	P. 8

I 事 業 の 状 況

1. 概 況

- (1) 経済界、医業界の理解と関係諸学会、諸団体および一般の方々の協力を得て、総額76,095,809円の募金を行った。
- (2) 前年度に引き続き、賛助会員の増強に努めた。
- (3) 研究機関・研究グループの研究調査に対する助成、学会・研究会に対する助成、公募助成、J-DOPPS調査（日本における血液透析の治療方法と患者の予後についての調査）、褒賞、雑誌発行、CKD（慢性腎臓病）対策推進などの事業は、順調に遂行され、事業費は総額261,465,666円を支出した。
- (4) 透析療法従事職員研修において、インターネットを使用したオンデマンド配信において集中講義を行い、また実習研修を行った。
- (5) 日本腎臓財団各賞の受賞者座談会記録を作成した。
- (6) CKD（慢性腎臓病）医療関係者に対して公募助成を行った。
- (7) J-DOPPSにおいては、第8期調査2年目を開始した。
- (8) 雑誌「腎臓」VOL. 47を発行した。
- (9) 雑誌「腎不全を生きる」VOL. 70、VOL. 71を発行した。
- (10) 「CKD予防のための市民公開セミナー」をオンラインで開催した。
- (11) 令和6年10月、厚生労働省、鳥取県などが行った臓器移植普及推進月間行事、臓器移植推進国民大会に主催として協力した。
- (12) 総事業費支出に対する助成金支出率は19.2%である。
期末基本財産は927,690,667円である。

2. 募 金 状 況

経済界、医業界、関係諸学会、諸団体および一般の方々の協力を得て総額76,095,809円の募金を行った。

3. 賛 助 会 員

- (1) 令和7年3月末の会員数は863会員（997口）となり、内訳は次の通りである。

- 1) 団体A会員 医療法人又はその他の法人及び公的・準公的施設（1口 50,000円）

特別会員 a（10口以上） 1会員（10口）

特別会員 b（5～9口） 3会員（16口）

一般会員（1～4口） 668会員（717口）

- 2) 団体B会員 法人組織でない医療施設、医局又は団体（1口 25,000円）

一般会員（1～4口） 56会員（69口）

- 3) 個人会員 個人（1口 10,000円）

特別会員 a（10口以上） 1会員（10口）

特別会員 b（5～9口） 6会員（30口）

一般会員（1～4口） 128会員（145口）

(2) 令和6年4月～令和7年3月末の入会者は次の通りである。

1) 団体A会員 27会員(36口) (敬称略・順不同)

特別会員a(10口以上)

広島・医療法人 福德永会 さいきじんクリニック

一般会員 (1～4口)

北海道・医療法人 祐仁会 石田クリニック

茨城・東京医科大学茨城医療センター

三重・医療法人 勢風会 津みなみクリニック (団体B会員から変更)

滋賀・医療法人 弘英会 琵琶湖大橋病院

和歌山・医療法人 青松会 河西田村病院

和歌山・医療法人 千徳会 桜ヶ丘病院

島根・医療法人 姫野クリニック

岡山・医療法人社団 泉樹会 新見クリニック

香川・医療法人 讃楡会 高松にれクリニック

香川・医療法人社団 海部医院

香川・医療法人 讃楡会 みとよ内科にれクリニック

愛媛・医療法人 順天会 放射線第一病院

福岡・医療法人 幸善会 天神オーバーナイト透析クリニック

福岡・医療法人 百武医院

佐賀・医療法人 芳生会 和田内科循環器科

佐賀・特定医療法人 静便堂 白石共立病院

長崎・医療法人 雄仁会 浦クリニック

長崎・医療法人 まつお内科医院

熊本・医療法人 玉和会 緑ヶ丘クリニック

熊本・医療法人 玉和会 玉名第一クリニック

大分・医療法人 杏林会 村上記念病院

宮崎・社会医療法人 泉和会 千代田病院

鹿児島・医療法人 實信会 まきのせ泌尿器科

沖縄・社会医療法人 友愛会 豊見城中央病院

沖縄・医療法人 信和会 沖縄第一病院

沖縄・医療法人 よしはる会 登川クリニック

2) 団体B会員 1会員(1口) (敬称略・順不同)

一般会員 (1～4口)

岡山・岡山大学病院 血液浄化療法部 腎臓・糖尿病・内分泌内科

3) 個人会員 10 会員 (11 口) (敬称略・順不同)

一般会員 (1～4 口)

東京・渋谷 祐子

東京・横尾 隆

石川・得田 久子

滋賀・荒木 信一

奈良・吉江 貫

和歌山・T.W.

兵庫・樺山 繁

岡山・東岡 健

熊本・西中村 隆一

大分・横山 巖

4. 研究・学会・支援助成事業

腎臓に関する学会開催・運営、及び腎臓に関する研究会など研究団体が実施する研究・調査活動等を支援するための助成

助成審査委員会において各案件ごとに審査の上、次の研究機関、研究グループ、研究課題及び研究会、学会に対して40,193,000円の助成を行った。

(1) 研究助成 (敬称略)	8 案件	28,766,000円
1) 腎疾患の発症・病態生理と進展防止に関する研究会		
東京女子医科大学・新田 孝作		2,945,000円
2) 腎不全研究会		
筑波大学 医学医療系 臨床医学域 腎臓内科学・山縣 邦弘		1,100,000円
3) 城東地域の腎臓病の病態と治療研究会		
医療法人社団 靱生会 メディカルプラザ篠崎駅西口・佐中 孜		500,000円
4) 東京腎臓病対策研究会		
東京女子医科大学 内科学講座 腎臓内科学分野・星野 純一		4,370,000円
5) 電解水透析研究会		
聖路加国際病院 腎臓内科・中山 昌明		1,900,000円
6) 日本女性腎臓病医の会		
京都華頂大学 現代家政学部 食物栄養学科・武曾 恵理		451,000円
7) 兵庫慢性腎臓病対策研究会		
兵庫医科大学 循環器・腎透析内科学・倉賀野 隆裕		500,000円
8) 腎泌尿器癌研究会		
東京女子医科大学 泌尿器科・高木 敏男		17,000,000円

(2) 学会助成 (敬称略)

5 案件 11,427,000 円

1) 腎と妊娠研究会学術集会

(第33回) 奈良県立医科大学 腎臓内科学・鶴屋 和彦 1,425,000円

2) 日本腎不全外科研究会学術集会

(第33回) 信州大学医学部附属病院 腎臓内科・上條 祐司 2,137,000円

3) 日本腹膜透析医学会学術集会・総会

(第30回) 一般財団法人 平成紫川会 小倉記念病院・
金井 英俊 3,581,000円

4) 日本透析クリアランスギャップ研究会学術集会

(第19回) 医療法人 翠悠会 翠悠会診療所・本宮 康樹 475,000円

5) 西日本泌尿器科学会総会

(第77回) 高知大学 医学部 泌尿器科学講座・井上 啓史 3,809,000円

5. 公募助成事業

腎臓に関する研究と腎不全医療の発展を支援し、腎疾患の予防、腎疾患患者のQOL向上を図るため、CKD（慢性腎臓病）病態研究助成として、「CKD病態に関する研究」における「臨床的研究」に対する研究助成

令和6年12月10日、オンラインにて開催した選考委員会に於いて、応募者31名のうち次の8名に対して総額5,000,000円の助成を決定した。

(敬称略)

- ・岡山大学学術研究院医歯薬学域 腎・免疫・内分泌代謝内科学 三瀬 広記
- ・大阪大学大学院医学系研究科 腎臓内科学 岡 樹史
- ・公益財団法人 冲中記念成人病研究所 大沢 樹輝
- ・京都大学医学部附属病院 薬剤部 勝部 友理恵
- ・独立行政法人国立病院機構大阪南医療センター 腎臓内科 飯尾 健一郎
- ・昭和大学藤が丘病院 内科系診療センター内科 佐藤 芳憲
- ・東北大学大学院医学系研究科 腎臓内科学分野 大江 佑治
- ・金沢大学附属病院 リハビリテーション部 櫻井 吾郎

6. 調査研究事業

腎疾患さんの治療の向上と普及を図るため、腎臓に関する調査研究 J-DOPPS（日本における血液透析の治療方法と患者の予後についての調査）第8期調査の実施

(1) 令和6年12月よりJ-DOPPS第8期調査2年目に入った。

研究実施施設交代により、新規研究施設（1施設）と契約を締結した。

(2) 研究計画書に基づき、研究参加施設より透析登録調査、患者背景調査、患者経過調査、研究実施責任医師調査等のデータ収集を継続した。

- (3) 令和6年6月9日、第69回日本透析医学会学術集会・総会にてDOPPSシンポジウムをパシフィコ横浜 会議センター5階「501」に於いて開催し、参加者は263名であった。

(4) ステアリング委員会

開催年月日・開催方法	議 案
令和6年4月2日 オンラインにて開催	・第69回JSDT DOPPSシンポジウムプログラムについて ・公表に関する内容・公表担当研究者について ・協賛企業によるRQ決定後の解析計画書について
令和6年8月14日 オンラインにて開催	・J-DOPPS第8期研究責任医師調査（MDS）について ・協賛企業によるRQ決定後の解析計画書について ・J-DOPPS研究承認済RQの変更申請について
令和6年11月6日 オンラインにて開催	・第70回JSDT DOPPSシンポジウムプログラムについて ・J-DOPPS第8期研究責任医師調査（MDS）について ・J-DOPPS CLIP 2024募集要項について
令和7年2月17日 オンラインにて開催	・J-DOPPS第8期 患者アンケート（PQ）について ・協賛企業によるJ-DOPPS研究に関する申請書について ・J-DOPPS承認済研究の学会発表許諾申請書について

(5) 研究論文作成支援プロジェクト J-DOPPS CLIP

1) J-DOPPS CLIP 2020

採択された4名のうち、投稿中であった1名の論文が英文誌に掲載されたことにより、全ての論文が掲載完了となった。

(敬称略)

- ・東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 中島 章雄
- ・昭和大学 医学部内科学講座 腎臓内科学部門 井芹 健
- ・名古屋市立大学 腎臓内科 村島 美穂
- ・大阪公立大学大学院 医学研究科 腎臓病態内科学 森 克仁

2) J-DOPPS CLIP 2021

採択された2名については、論文投稿中である。

(敬称略)

- ・福島県立医科大学大学院 医学研究科 臨床疫学分野 西脇 宏樹
- ・東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科 本多 佑

3) J-DOPPS CLIP 2023

令和6年4月22日、オンラインにてRQ採択会議を開催し、応募総数8件のうち、次の3名のリサーチクエスチョンを採択した。

(敬称略)

- ・新潟大学 保健管理センター 佐藤 弘恵
- ・東海大学医学部 腎内分泌代謝内科学 中川 洋佑
- ・東京大学医学部附属病院 腎臓・内分泌内科 日高 尚子

4) J-DOPPS CLIP 2024

令和6年12月1日から令和7年2月20日まで募集を行った。

- (6) 財団ホームページにて、J-DOPPSの集計データDOPPS PRACTICE MONITOR (DPM)を公開した。

7. 透析療法従事職員研修事業

透析に携わる医療従事者に対する透析医療の基礎的な知識と技術の向上を目指すための研修の実施

- (1) 令和6年8月1日～10月31日の期間中、インターネットを使用したオンデマンド配信にて、医師、看護師、准看護師、臨床工学技士、臨床検査技師、衛生検査技師、管理栄養士、栄養士、薬剤師、理学療法士を対象に集中講義を行った。実習希望者には、全国172の実習施設指定施設において、医師は35時間（1週間）、看護師、准看護師、臨床工学技士は70～140時間（2～4週間）の実習を行った。受講者総数は960名、そのうち実習修了者190名に対し、修了証書を交付した。
- (2) 令和6年11月21日、オンラインにて透析療法従事職員研修運営委員会を開催し、令和6年度の報告と令和7年度の企画立案を行った。

8. 褒賞事業

腎臓学に関する注目すべき業績に対しての褒賞

- (1) 令和6年11月18日、オンラインにて褒賞選考委員会を開催し、令和7年度日本腎臓財団賞・学術賞の受賞者選考を行い、次の4名の表彰を決定した。
(敬称略)

日本腎臓財団賞	追 手 巍	(新潟大学 名誉教授)
学 術 賞	安 西 尚 彦	(千葉大学大学院 教授)
学 術 賞	猪 阪 善 隆	(大阪大学大学院 教授)
学 術 賞	鈴 木 祐 介	(順天堂大学大学院 教授)

また、功労賞は次の1名の表彰を財団運営会議にて決定した。

(敬称略)

功 勞 賞	前 波 輝 彦	(医療法人 あさお会 あさおクリニック 理事長)
-------	---------	-----------------------------

令和7年2月28日、LEVEL XXI東京會館に於いて令和7年度日本腎臓財団賞、学術賞、功労賞の表彰を行った。

- (2) 令和6年7月18日、オンラインにて令和6年度日本腎臓財団賞・学術賞・功労賞の受賞者座談会を開催し、座談会録を雑誌「腎臓」VOL. 47に収録した。

9. 雑誌発行事業

- (1) 雑誌「腎臓」

腎臓に関する医療者を対象として治療・研究の情報などを掲載した雑誌の発行

- 1) 雑誌「腎臓」VOL. 47を4,000部発行し、関連医療施設に無償で配布した。
- 2) 令和6年8月29日、オンラインにて編集委員会を開催し、VOL. 47及び今後の企画について話し合った。

(2) 雑誌「腎不全を生きる」

透析患者さん及びご家族の方々を対象に腎臓病に関する知識や情報、栄養・食事・クスリ・合併症等、日々の治療・生活に役立つ雑誌の発行

- 1) 雑誌「腎不全を生きる」VOL. 70を37,000部、VOL. 71を35,000部発行し、関連医療施設に無償で配布した。
- 2) 令和6年4月22日、オンラインにて編集委員会を開催し、VOL. 70及び今後の企画について話し合った。
- 3) 令和6年7月11日、オンラインにて編集委員会を開催し、VOL. 71及び今後の企画について話し合った。
- 4) 令和7年3月11日、オンラインにて編集委員会を開催し、VOL. 72の企画について話し合った。

10. CKD（慢性腎臓病）対策推進事業

CKDの正しい知識と予防の大切さを一般の方に広く知っていただき、CKD予防の促進を図るための事業

(1) CKDセミナー オンライン

- 1) 令和6年2月24日に実施したCKDセミナー「えっ！8人に一人が・・・あなたも慢性腎臓病（CKD）の予備軍かもしれません」の採録を朝日新聞（全国版、令和6年5月25日付）、及び朝日新聞デジタルに掲載した。
- 2) 令和7年2月24日、CKDセミナー「慢性腎臓病（CKD）ってどんな病気？知って、元気に！あなたの腎臓」を朝日新聞社スタジオに於いてオンライン配信により開催し、987名の参加者を得た。

- (2) 慢性腎臓病（CKD）予防の大切さを一般の方に広くご理解いただくための冊子「CKDをご存じですか？～腎臓を護ることは命を守ることです」を7,000部作成し、賛助会員や自治体及び各地で開催されるCKD関連セミナーに無償で配布した。

11. 臓器移植普及推進月間活動に対する協力

移植医療について広く一般にご理解いただき、臓器移植を推進するための協力

令和6年10月、臓器移植普及推進月間の諸行事、及び10月20日、米子市文化ホールにて開かれた第25回臓器移植推進国民大会に厚生労働省、鳥取県、日本臓器移植ネットワーク、鳥取県臓器・アイバンクと共に主催として協力した。

Ⅱ 処 務 の 状 況

1. 役員に関する事項

(1) 役 員

令和7年3月31日現在（50音順）

会 長	相 京 重 信	元SMB C日興証券株式会社 会長、 橋本総業ホールディングス株式会社 社外取締役
理 事 長	秋 澤 忠 男	昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 客員教授
理 事	秋 田 瑞 枝	弁護士、ひのき総合法律事務所 所長
理 事	五十嵐 隆	国立研究開発法人国立成育医療研究センター 理事長
理 事	伊 藤 貞 嘉	公立刈田総合病院 特別管理者
理 事	岩 崎 賢 二	HMS ホールディングス株式会社 代表取締役社長
理 事	内 山 英 世	公認会計士、朝日税理士法人 顧問
理 事	関 本 昌 吾	前田建設工業株式会社 顧問
理 事	中 山 恒 博	東海東京フィナンシャル・ホールディングス株式 会社 取締役、三井不動産株式会社 取締役
理 事	平 田 純 生	I & H株式会社 学術研修部 学術顧問
理 事	前 波 輝 彦	医療法人あさお会あさおクリニック 理事長
理 事	八木澤 隆	独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院 病院長
監 事	大 塚 美智子	公認会計士、大塚公認会計士事務所 所長
監 事	衣 笠 えり子	昭和大学 名誉教授

(2) 役員会

開催年月日・場所	議 案	議 事 結 果
第38回理事会 令和6年5月17日 LEVEL XXI 東京會館 ゴールドルーム (東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット 大手町ビル21階)	1. 特定費用準備資金承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	2. 令和5年度(自 令和5年4月1日 から 至 令和6年3月31日) 事業 報告及び決算報告承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	3. 評議員会の日時、場所及び目的で ある事項等の件	原案どおり 満場一致で可決
	4. 業務執行理事選定の件	原案どおり 満場一致で可決
	5. 重要な使用人の選定の件	原案どおり 満場一致で可決
	6. 顧問選任の件	原案どおり 満場一致で可決
第39回理事会 令和7年2月28日 LEVEL XXI 東京會館 スタールーム (東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット 大手町ビル21階)	1. 令和7年度(自 令和7年4月1日 から 至 令和8年3月31日) 事 業計画・正味財産増減予算書承認の 件	原案どおり 満場一致で可決
	2. 評議員会の日時、場所及び目的で ある事項等の件	原案どおり 満場一致で可決
	3. 資産運用管理規程一部改訂承認の 件	原案どおり 満場一致で可決
	4. 一般寄付金受入れ承認の件	原案どおり 満場一致で可決

2. 評議員に関する事項

(1) 評 議 員

令和7年3月31日現在（50音順）

氏 名	勤 務 地
安 西 尚 彦	千葉大学大学院医学研究院薬理学 教授
安 藤 亮 一	医療法人社団石川記念会 顧問
伊 藤 秀 一	横浜市立大学大学院医学研究科発生成育小児医療学 主任教授
稲 熊 大 城	藤田医科大学ばんだね病院 副院長
内 田 明 子	医療法人社団クレドさとうクリニック 総括部長
大 谷 はるみ	公認会計士、大谷公認会計士事務所 所長
鎌 田 直 博	医療法人社団大誠会サンシャインM&Dクリニック
小 林 修 三	医療法人徳洲会湘南鎌倉総合病院 院長
小 林 美 奈	弁護士、弁護士法人ANSWERZ
渋谷 祐 子	NTT東日本関東病院 副院長
鶴 屋 和 彦	奈良県立医科大学腎臓内科学 教授
西 慎 一	医療法人社団一陽会服部病院腎臓内科 部長
西 沢 邦 浩	日経BP総合研究所メディカル・ヘルスラボ 客員研究員
新 田 孝 作	東京女子医科大学 名誉教授
本 間 崇	善仁会グループ 相談役
山 本 裕 康	学校法人慈恵大学 常務理事
和 田 隆 志	国立大学法人 金沢大学長

(2) 評議員会

開催年月日・場所	議 案	議 事 結 果
第30回評議員会 令和6年6月14日 LEVEL XXI 東京會館 オリオンルーム (東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット 大手町ビル21階)	1. 特定費用準備資金承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	2. 令和5年度(自 令和5年4月1日から 至 令和6年3月31日)事業報告及び決 算報告承認の件	原案どおり 満場一致で可決
	3. 理事選任の件	原案どおり 満場一致で可決
第31回評議員会 令和7年2月28日 LEVEL XXI 東京會館 スタールーム (東京都千代田区大手町 2-2-2 アーバンネット 大手町ビル21階)	1. 令和7年度(自 令和7年4月1日から 至 令和8年3月31日)事業計画・正味 財産増減予算書承認の件	原案どおり 満場一致で可決

3. 運営会議

開催年月日・場所 (開催方法)	議 案
令和6年5月17日 LEVEL XXI 東京會館 ゴールドルーム	・2～4月度月次報告 ・資産運用報告 ・第38回理事会・第30回評議員会 議案 ・その他報告
令和6年7月25日 オンラインにて開催	・5～6月度月次報告 ・資産運用報告 ・その他報告
令和6年9月17日 オンラインにて開催	・7～8月度月次報告 ・資産運用報告 ・日本腎臓財団功労賞の選考 ・その他報告
令和6年12月16日 LEVEL XXI 東京會館 アンジェ	・9～11月度月次報告 ・資産運用状況報告 ・その他報告
令和7年2月28日 LEVEL XXI 東京會館 サファイヤ	・12～1月度月次報告 ・資産運用報告 ・第39回理事会・第31回評議員会 議案 ・その他報告

4. 助成審査委員会

開催年月日・場所 (開催方法)	議 案
令和6年5月17日 LEVEL XXI 東京會館 ゴールドルーム	・5月度助成金交付申請審査 ・3～4月度助成金交付報告 ・3～4月度助成承認超過額審査 ・成果報告及び収支報告確認
令和6年7月25日 オンラインにて開催	・7月度助成金交付申請審査 ・7月度助成金交付予定報告 ・成果報告及び収支報告確認 ・5～7月度助成承認超過額審査 ・5～6月度助成金交付報告
令和6年9月17日 オンラインにて開催	・9月度助成金交付申請審査 ・8月度助成金交付報告 ・8月度助成承認超過額審査 ・成果報告及び収支報告確認
令和6年12月16日 LEVEL XXI 東京會館 アンジェ	・12月度助成金交付申請審査 ・12月度助成金交付予定報告 ・成果報告及び収支報告確認 ・12月度助成承認超過額審査 ・9～11月度助成金交付報告 ・CKD病態研究助成助成金交付予定報告
令和7年2月28日 LEVEL XXI 東京會館 サファイヤ	・2月度助成金交付申請審査 ・1～2月度助成金交付報告 ・1～2月度助成承認超過額審査 ・成果報告及び収支報告確認

5. 資産運用会議

令和7年3月17日、財団会議室において、当財団の活動原資となる資産運用の状況及び事業費用について、幅広い検討を行った。

6. 許可・認可に関する事項

該当事項なし

7. 契約に関する事項

該当事項なし

8. 登記に関する事項

令和6年7月12日、理事の辞任・就任、会計監査人の重任登記、令和6年12月25日、評議員の変更登記を行った。

9. 行政庁指示に関する事項

該当事項なし

10. その他特記事項

(1) 業務執行理事の辞任に伴い、新たに業務執行理事の選定及び理事1名の選任を行った。

(2) 令和3年から行っていた基幹システムである業務管理システムの更新が完了した。

以 上

令和6年度事業報告附属明細書

令和6年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。